

自然発見クラブ「身近な野鳥のための巣箱づくり」開催しました

今年も2月17日に、神奈川県自然環境保全センター・レクチャールームで自然発見クラブ「身近な野鳥のための巣箱づくり」を開催しました。当日の参加者は大人と子供合わせて14名、運営スタッフは理事長、副理事長、事務局長ほか会員1名でした。

最初に、人間の身近に生息している樹洞繁殖性の野鳥にとって、子孫を残すために樹洞の代わりとなる巣箱が重要であることを、スライドを使って簡単に説明しました。その後、全員で巣箱を作成しました。釘と金づちを持って真剣な表情で巣箱を組み立てて、絵の具やマジックペンを使って絵を描いたり、色を塗ったりして楽しんでもらえたようです。

最後に巣立ヒナの誤認保護に関するお話をしました。参加者全員が熱心に話を聞いてくれました。今回の巣箱づくりをきっかけに、野鳥や自然環境の保護活動に興味をもって参加してくれる人が増えていくことを願っています。

遠藤順一

